

2010年度 自己評価書

学校法人藤学園 藤幼稚園

1 本年度の重点目標

- ・ カトリックの精神を基盤とし、カトリックの人間観を重視しその具現化である、幼児一人ひとりをかけがえない存在として大切に、当園の特色であるモンテッソーリ教育法の更なる充実を図る。
- ・ 第42回札幌市私立幼稚園教育研究大会において、北区幼稚園の公開保育園に当たっているため、子どもを視点に良い生活(自分の意志を使った)保育の充実に教職員一致して迎えるよう努力していく。

2 本年度の経営方針

人的及び物的環境の整備(特に園庭の整備・植樹などの管理)
 (園舎新築10年になり、樹木の刈り込み、剪定をする)。
 幼児教育を充実を重視しながら、少子化に伴い園児数は横ばいにありできるだけ経費削減に努めるように努力していきたい、

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育目標	園の創立理念・建学の精神にあるキリスト教理念を理解している。	A	教職員が理解し、自分のものとし、説明できるようにつとめる。
	教育目標と教育方針を理解している。	A	具体化し更に深く理解し共通理解する手段も考え進めることも大切
	教育方針について園長と共に定期的に話し合い、理解を深めている。	A	定期的に継続し深めるように努める。
教育課程	幼稚園教育要領を理解している。	B	しっかり意識して読み理解し、大まかな捉えとなっているので理解を深める
	教育目標・教育方針が教育課程に反映されている。	A	教育課程の具体的なねらい・内容を深く理解し具体化する
	職員全員の協力により教育課程を反省・評価し、必要に応じて改善している。	A	長期的見通しをもって反省し評価し、次につなげていくように具体化する
指導計画	園の教育課程の具体的実施計画として、長期短期の指導計画の関連性をふまえて作成している。	B	少しずつ長期的継続性を考えて具体化できるように努力してきているので深めていく
	幼児の興味・関心、生活の流れ等、実態に応じて変更できるような計画になっている。	A	子どもと深く向き合うほど変化や必要性が見えるので臨機応変に努めている
	日々の保育の記録をとり、自ら検討すると共に教員間で話し合い、次の計画にいかしている。	A	共感・共有し日々の保育に生かすように努力している
教育環境	幼児にとってふさわしく安定した生活ができる環境になっている。	A	環境には恵まれているので、尚一層今後も努めていくようにしたい
	季節や周囲の自然等をいかして環境を構成している。	A	自然物を実際の生活・製作などに取り入れ、ありのままの自然に触れるチャンスを多くしたい

	幼児の主体的な活動に合わせて、適切に環境を再構成するようにしている。	A	子どもの活動により良いものは意識し取り入れ必要な改善は継続努力していきたい。
	施設・設備を整え、幼児の様々な活動がおこなえるようにしている。	A	子どもにとって良い生活空間の充実として、ベランダから園庭へと靴棚を整備した。
	施設・設備の安全を確保する努力をしている。	A	特に固定遊具などの安全管理の継続、アスレチック遊具の塗装・園庭の芝生も安全と環境の一つ
	施設・設備の改善や計画について積極的に意見を述べている。	B	職員間において、積極的と言うより、必要な時には考えや意見はいえる
教育内容	基本的生活習慣に関しては、家庭との連携を踏まえ、一人ひとりの状況に応じた援助をしている。	A	個別に必要なに応じ確認し進めている。
	食べ物を大切にし、感謝する心を育てる配慮をしている。	A	給食において、残さない、食べられないものは取らない、基本的なことを重要視し生活の中で折に触れて伝えている。感謝の心は特に重要視している
	一人ひとりが安定感を持ち、友だちと協力したり、思いやったり、助け合って生活できるようにしている。	A	これは体験の中で覚えることなので、特に年長組には心して意識し学び取ってほしいと願っていることの一つです。(協力の大切さがより喜びになる)
	生活や遊びの中で、頑張ったり、我慢したり等の豊かな心の体験が得られるようにしている。	A	具体的体験を通して学び、伝え自分に自信と誇りをもって育て欲しい
	生活や遊びの中でルールを守り、楽しく活動できるようにしている。	A	ルールによって物事がスムーズに行く体験の必要性を生活や遊びの中で培うように努めている
	身近な事象(自然的事象・社会的事象)や動植物との触れ合い、親しむとともに、生命の大切さや畏敬の念を感じとれるように努めている。	A	植物・、鳥(セキセイインコ)金魚など、見たり、具体的体験を折りに触れて伝え、生き物、命あるものの大切さを知って欲しいと思います
	神の子として世界の平和を大切にする心を育てている。	A	世界の平和は、個心の平和から始まり、最初は母親の愛情を基盤とし外に向って行くことに心を向ける
教師の役割	幼児一人ひとりの心のより所としての役割を果たしている。	A	どんな時にも一人ひとり心を込めてしっかり、愛されていると感じるように心して向き合い、ことばでも伝えるように努力していく
	一人ひとりの幼児をより深く理解するように努めている。	A	一人ひとりの見取りを見える部分、見え部分も考慮しより深く理解し 怠らないようにする。心身の健康に気をつける
	保護者に信頼されるように努めている。	A	誠心誠意心して接するように、報告連絡相談など忘れず忠実に対応する
	教師であることに誇りを持ち、生きがいを感じている。	A	常に謙虚に、教師としての責任を自覚を持ち、自信と誇りを持って努力し作りあげていく。
	教師としてその場に応じて適切な言葉や態度、行動などをとっている。	A	園の方針を踏まえ、自分の考えを持ちながら、言葉や態度を持って誠実に対応するように心がける
	自分も園運営に参画しているという自覚をもって勤務している。	B	意識し自覚をもて改善するように促す

	職員間の人間関係において信頼と協力を築くように努力している。	A	人間関係は良いが、お互いを尊重し合いながら真の教育を目指し助け合い信頼をふかめていく
資質の向上	教師の専門性を高め合えるために研修に意欲的に参加している。	A	研修の内容が広がりを持てるように、苦手分野や参加の少ない項目にも目を向けたい
	キリストの教えを学びそれを幼児に伝える指導法を研究している。	B	園長のみではなく、宗教の課程について、教師間でもカリキュラムの見直しをしたい要望がある
	社会の変化、情報化、国際化等の変化に対応できる力を身に付けるようにしている。	B	テレビやインターネットでの情報や必要最低限の語学力を身につけるよう努力する
	家庭や地域との連携を十分に図りながら保育を展開するようにしている。	A	地域との連携が不足している。学園としての繋がりが、多少増えつつあるが意識し積極さが必要
	この園で仕事ができることに喜びと誇りを感じている	A	同じ教育観を持ち前向きに、先輩後輩として喜びと誇りをもって勤めている
子育て支援	幼児の発達、育児等について保護者と共通理解を得よう努力している。	A	できるだけ応じるように努めている
	幼児の心身の健康と発達の状態について、家庭との連携を密にし、専門機関との連携を図り適切な指導をおこなっている。	A	週に1回発達相談を応じているので広げ定期的に、継続し連携をとって進めていきたい
	保護者の子育てへの不安、育児へのニーズを理解しようと努めている。	A	必要に応じお互いに情報を共有すると共に、不安等を理解し、深め対応していくように努めていく
地域連携	地域に伝えられている文化や伝統に触れる機会を大切にしている。	B	地域の伝統に触れるチャンスを作っていきたい
	カトリック教会との連携を計りキリスト教文化や伝統に触れる機会を大切にしている	B	修道院の聖堂での降誕祭、卒園感謝のミサなど本物にふれ心を揺さぶられ何かを感じ取っている
	他の教育機関等と連携や交流をし保育にかかしている。	A	小学校との連携、幼児教育センターなど交流し始まったところなので継続し広げて行きたい
組織運営	園・学園の組織について知り、自分もその組織の一員としての自覚をもって行動している。	A	連携、協力など心がけ、更なる自覚をもって一人ひとり努力する。
	危機管理のためのマニュアルや対策について理解している。	B	昨年の危機管理の対策を踏まえ、継続と共により明確化し理解を深める
	教職員の職務分担が明確化され、それにしたがって適切に行動している。	A	自覚し責任を遂行している
	教職員間の連絡・調整が適切におこなわれている。	A	報告・連絡・相談を的確に意識して行う
	会議等の運営・役割に応じて積極的に職員参加している。	A	より職員間の意見を拾うようにし、引き出せる環境づくりをし主体的に参加している
保護者との意見の反映	保護者からの意見を聞き、それを園長に伝え、適切に反映している。	A	必要に応じ必ず報告し適切に処理対応するようにつとめている
	幼児や保護者の個人情報の取り扱いについて、適切な配慮がされている。	A	常に自覚し確認をするようにしている
	保育に関わる公文書の保管・管理が適切に行われている。	A	常に所定の場所に保管、管理している
安全衛生管理	事故防止のため、施設・設備等の安全点検・衛生管理を定期的、また随時行い取り組んでいる。	A	通常定期的に、日々、学期毎など環境の点検・整備・安全を確認しながら進めている

	園児の防犯や安全のマニュアルを理解して、適切に対応している。	A	昨年同様継続し更に不足な部分に対応できるよう努力し、危機管理マニュアルを活用する
	地震防災、消防計画を理解し、適切に対応している。	A	各自、分担部分だけでなく、定期的に行うこと敏速に行動できるように。適切な対応
	事故、問題等が起きた場合の園長への報告・保護者への説明、対応を適切におこなっている。	A	事故・怪我の対応は適切に、敏速に対応できるようにする。園長への報告・連絡を着実にやり、保護者への対応に心を遣い気を救すことがないように。